

本資料は、投資家/ビジネスパートナーの皆様からのご要望に応えるため、アストラゼネカ英国本社（AstraZeneca PLC）が 2025 年 4 月 29 日に発表した、[2025 年第 1 四半期業績](#)の一部を日本語に翻訳し、参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。本リリースには、本邦未承認および国内と異なる適応の情報を複数含みます。

AstraZeneca

2025 年 4 月 29 日

2025 年第 1 四半期業績

～成長への推進力とパイプラインの実現により、

2030 年の目標達成に向けて堅調な軌道に～

収益および EPS の概要

	2025 年 第 1 四半期	増減 (%)				
	100 万ドル	実績	CER ¹			
-製品売上	12,875	6	9			
-アライアンス収益	639	40	42			
製品収益 ²	13,514	7	10			
協業収益	74	64	64			
売上収益	13,588	7	10			
報告ベース EPS (ドル)	1.88	34	32			
コア ³ EPS (ドル)	2.49	21	21			

2025 年第 1 四半期の主な業績（伸び率は恒常為替レートベース）

- * オンコロジーおよびバイオ医薬品の 2 桁成長を受けて、売上収益は 10%増の 135 億 8,800 万ドル
- * すべての主要地域で売上収益が成長
- * コア営業利益は 12%増加
- * 決済のタイミングにより、当四半期のコア税率は 16%。通年のコア税率の予想は変わらず 18～22%
- * コア EPS は 21%増の 2.49 ドル
- * 前回の業績以降、主要地域で 5 件の良好な第 III 相臨床試験結果および 13 件の承認

最高経営責任者（CEO）パスカル・ソリオのコメント

「当社の堅調な成長は 2025 年も持続しており、今や当社はかつてないほど成長要因に恵まれた時期に入りました。

すでに今年、当社は 5 つの第 III 相臨床試験で良好な結果が得られたことを発表しています。これには、特に大きな期待が寄せられてきたエンハーツの DESTINY-Breast09 のほか、カミゼストラントの SERENA-

6、イミフィンジの MATTERHORN が含まれます。後者の 2 試験は、2025 年米国臨床腫瘍学会のプレナリーセッションで取り上げられる予定で、オンコロジーコミュニティにおけるこれらデータの意義を示しています。

当社は、米国での投資と成長に徹底して尽力しており、低分子化合物、バイオ医薬品および細胞療法を扱う米国の 11 カ所の生産施設など、広範な収益源と世界の製造拠点から継続して利益を得ています。また、メリーランド州ゲイザースバーグとマサチューセッツ州ケンブリッジの 2 つの大型研究開発施設を活かし、製造および研究開発において米国でのさらなる投資を計画しています。

総括として、当社は 2030 年までの目標である売上収益 800 億ドルの達成に向け、力強く進捗しています」。

DESTINY-Breast09、MATTERHORN および SERENA-6 など、前回の決算発表以降の臨床試験結果の詳細については、表 1 をご覧ください。

米国の製造施設 11 カ所の所在地については、注記 4 をご覧ください。

ガイダンス

2024 年通年の平均為替レートに基づく CER ベースで、2025 年通年の売上収益およびコア EPS に関するガイダンス⁵を再掲します。

売上収益は、1 桁台後半の増加を見込む

コア EPS は、2 桁台前半の増加を見込む

- コア税率は 18～22%を想定
- 仮に 2025 年 4 月から 2025 年 12 月までの為替レートが 2025 年 3 月の平均レートを維持した場合、CER ベースの業績と比較して、2025 年通年の売上収益は 1 桁台前半のマイナス影響（前回のガイダンスから変更なし）、コア EPS は 1 桁台前半のマイナス影響（前年は 1 桁台半ば）を受けると予想されます。

業績のハイライト

Table 1 : 前回の業績発表以降に達成したマイルストーン

第 III 相およびその他の登録データの臨床試験結果

医薬品	治験	適応症	イベント
エンハーツ	DESTINY-Gastric04	HER2 陽性胃／GEJ がん（2 次治療）	主要評価項目達成
エンハーツ	DESTINY-Breast09	HER2 陽性転移性乳がん（1 次治療）	併用投与群につき主要評価項目達成
イミフィンジ	MATTERHORN	切除可能な胃／GEJ がん	主要評価項目達成
カミゼストラント	SERENA-6	HR+ HER2-転移性乳がん（ESR1m 発現時に 1 次治療を切り替え）	主要評価項目達成
eneboparatide	CALYPSO	慢性副甲状腺機能低下症	主要評価項目達成、52 週まで臨床試験を継続

薬事承認

医薬品	治験	適応症	地域
カルケンス	ACE-LY-004	再発／難治性 MCL	欧州
カルケンス	ChangE	CLL/SLL	中国
ダトロウェイ	TROPION-Breast01	HR+ HER2-乳がん（2 次治療）	欧州
エンハーツ	DESTINY-Breast06	HER2 低発現および超低発現 HR+乳がん（2 次治療以降）	欧州
イミフィンジ	AEGEAN	切除可能な早期（IIA～IIIB）NSCLC	欧州、中国
イミフィンジ	NIAGARA	MIBC	米国
イミフィンジ+イジュド	ADRIATIC	SCLC（限局型）	欧州、日本
トルカブ	CAPItello-291	バイオマーカー変異を有する HR+ HER2-転移性乳がん	中国
Wainzua	NEURO-TTRansform	ATTRv-PN	欧州
Beyonttra (acoramidis)	NCT04622046	ATTR-CM	日本
ユルトミリス	CHAMPION-MG	gMG	中国

主要地域における薬事承認申請または受理*

医薬品	治験	適応症	地域
エンハーツ	DESTINY-Breast06	HER2 低発現および超低発現 HR+乳がん（2 次治療以降）	中国
イミフィンジ	PACIFIC-5	局所進行 NSCLC	中国
イミフィンジ+イジュド	HIMALAYA	切除不能な HCC	中国
イミフィンジ	HIMALAYA	切除不能な HCC	中国
イミフィンジ	DUO-E	ミスマッチ修復機能欠損を有する原発性進行または再発子宮体がん	中国
ファセンラ	MANDARA	EGPA	中国
テゼスパイア	WAYPOINT	CRSwNP	米国、欧州、日本、中国
コセルゴ	KOMET	NF1-PN（成人）	米国、中国

*米国、欧州および中国の薬事承認申請は申請受理を意味します。

その他パイプラインの最新情報

最近の臨床試験開始および主要な臨床試験結果の予想時期については、臨床試験付録（Clinical Trials Appendix）（www.astrazeneca.com/investor-relations.html）をご覧ください。

Table 2 : 2025 年第 1 四半期の財務パフォーマンスの主要要素

項目	報告 ベース	増減 (%)		コア	増減 (%)		
	100 万 ドル	実績	CER	100 万 ドル	実績	CER	
製品収益	13,514	7	10	13,514	7	10	* 医薬品の製品収益、アライアンス収益 および製品売上の詳細は、Table 3 お よび 24 を参照
協業収益	74	64	64	74	64	64	* 協業収益の詳細は Table 4 を参照
売上収益	13,588	7	10	13,588	7	10	* 治療領域別および地域別の売上収益 は Table 5 および 6 を参照
粗利益率 (%)	84	+1pp	-	84	+1pp	-	+ 為替レートの変動 - 価格調整（米国のメディケア・パート D プログラムによって返還される売上に対 する価格調整等） * 粗利益率 ⁶ の定義は、以下の「報告上 の変更点」を参照 * 為替変動、製品の季節性、協業収 益、およびその他の影響により、期間に よる粗利益率の変動を予想
研究開発費	3,159	13	15	3,088	14	16	* コア研究開発費：売上収益の 23% + 価値の高いパイプラインに関する良好な 臨床試験結果に伴う後期臨床試験の 開始 + 研究開発の能力向上を図るためのプ ラットフォーム、新技術、能力への投資
販売費・一 般管理費 (SG&A)	4,492	-	3	3,457	1	4	* コア SG&A：売上収益の 25%
その他営業 収入（およ び費用） ⁷	113	71	71	115	79	78	+ 売却による前払金受領
営業利益率 (%)	27	+2pp	+2pp	35	+1pp	-	
純金融費用	265	(12)	(11)	215	(12)	(11)	+ より高い金利での 2024 年の債務 - 税決済に関連した調整（下記を参 照）
税率 (%)	14	-8pp	-8pp	16	-6pp	-6pp	- 税務当局との決済後に前期の税金負 債見積額を更新
EPS (ドル)	1.88	34	32	2.49	21	21	

金額の増減の単位はパーセント、粗利益率、営業利益率および税率の増減の単位はパーセンテージポイントです。

上記の費用におけるコメントにおいて、プラスとマイナスの行頭文字は、記載されている項目の影響の方向性を示します。例えば、研究開発費のコメントの隣にある「+」記号は、その項目が前年に比べて研究開発費を増加させたことを意味します。

中国

2025 年 4 月、中国での捜査に関して以下の進展がありました。

まず、医薬品の違法輸入の疑いに関し、アストラゼネカは総額 160 万ドルの輸入税未払いの疑いについて、深圳市税関からの査定評価を受領しました。アストラゼネカが知る限り、査定評価に記載された輸入税はエンハーツに関するものです。また、アストラゼネカの法的責任が認められた場合、未払い輸入税額の 1～5 倍の罰金が課される可能性があります。

次に、個人情報侵害の疑いに関し、アストラゼネカは個人情報の違法な収集の疑いについて、深圳宝安区公安局（PSB）から送検の通知を受領しました。当社は、個人情報侵害による当社への不法利得はなかったという知らせを受けています。

アストラゼネカは引き続き中国当局に全面的に協力します。

コーポレートおよび事業開発

FibroGen 社

2025 年 2 月、FibroGen 社は、FibroGen China をアストラゼネカに売却することを発表しました。

合意条件に基づき、FibroGen 社は企業価値の 8,500 万ドルに、完了時に中国で保有する FibroGen 社の正味現金（署名日時点で約 7,500 万ドルと推定）を加えて、合計約 1 億 6,000 万ドルを受領します。取引は、中国での規制当局による審査など、通常の実行完了条件を待って、2025 年半ばまでに完了する見込みです。

完了次第、アストラゼネカは、中国での製造を含め、中国におけるロキサデュスタットのすべての権利を取得します。

EsoBiotec 社

2025 年 3 月、アストラゼネカは、生体内細胞療法の先駆けであり有望な早期臨床活性を実現したバイオテクノロジー企業、EsoBiotec 社を買収する最終契約を締結しました。EsoBiotec 社の Engineered NanoBody Lentiviral（ENaBL）プラットフォームによって、数週間かかる従来のプロセスに対し、数分で送達される革新的な細胞療法の治療をより多くの患者さんに提供できる可能性があります。

アストラゼネカは、EsoBiotec 社のすべての発行済株式を、現金および負債のない状態で、最大 10 億ドルで取得します。これは、取引完了時の 4 億 2,500 万ドルの初回金と、開発および規制上のマイルストーンに基づく最大 5 億 7,500 万ドルの条件付き対価を含みます。取引は、通常の実行完了条件および規制当局の認可を条件として、2025 年第 2 四半期に完了する見込みです。

Alteogen 社

2025 年 3 月、アストラゼネカと Alteogen 社 Inc.は、Hybrozyme™プラットフォーム技術を活用した新規ヒアルロニダーゼである ALT-B4 について独占的ライセンス契約を締結しました。合意条件に基づき、アストラゼネカは、ALT-B4 を使用して複数のオンコロジーアセットの皮下注製剤を開発・商品化する世界的な権利を取得しました。Alteogen 社は、アストラゼネカに治験用および商用として ALT-B4 を供給する責任を負います。アストラゼネカは、Alteogen 社に対する前払金の支払いを完了しましたが、特定の開発、規制および売上関連のマイルストーンの達成を条件に追加の支払いを行う可能性があります。また、Alteogen 社は、商品化された製品の売上に応じてロイヤリティを受け取ります。

北京研究開発センター

2025 年 3 月、アストラゼネカは、中国・北京に当社で 6 番目となるグローバル戦略上の研究開発センターを設立することを発表しました。これは、上海研究開発センターの開設に続き、中国で 2 番目のアストラゼネカの研究開発センターであり、最先端の人工知能とデータサイエンス研究所によって、早期の研究や

臨床開発を推進します。この新しい研究開発センターは、北京国際医薬イノベーションパーク（バイオパーク）で、先進的なバイオテック企業、研究病院および中国国家薬品监督管理局の近くに位置する予定です。

Harbour BioMed 社

2025 年 3 月、アストラゼネカは、免疫やオンコロジーなどを対象とした次世代多重特異性抗体の発見と開発に向け、Harbour BioMed 社とグローバルでの戦略的提携を締結しました。この戦略的提携には、複数の治療領域において Harbour BioMed 社が所有する完全ヒト抗体技術プラットフォームを活用した複数プログラムの使用許諾のオプションとともに、2025 年 4 月に完了した Harbour BioMed 社への株式投資が含まれます。提携および株式投資の前払金は総額 1 億 7,500 万ドルです。アストラゼネカは、将来的な純売上に基づく段階別ロイヤリティとともに、使用許諾を選択する各プログラムについての追加費用および付随するマイルストーンを負担する可能性があります。

BioKangtai 社

2025 年 3 月、BioKangtai 社とアストラゼネカは、革新的なワクチンの研究開発および生産に重点を置く合併会社設立に向けて、戦略的パートナーシップを締結しました。

当合併会社は、中国におけるアストラゼネカの最初かつ唯一のワクチン生産拠点として機能し、登録資本金は 3 億 4,500 万人民元（約 5,000 万ドル）、総投資額は約 4 億ドル（27 億 6,000 万人民元）です。BioKangtai 社とアストラゼネカはそれぞれ、合併会社の 50%の株式を保有します。

Syneron Bio 社

2025 年 3 月、アストラゼネカは、慢性疾患の治療を目的とした将来性のあるファースト・イン・クラスの大環状ペプチドの開発に向け、Syneron Bio 社と戦略的提携を締結しました。この提携のもと、アストラゼネカは Syneron Bio 社の革新的な大環状ペプチド薬研究開発プラットフォームを利用できるようになり、希少疾患、自己免疫疾患および代謝疾患など慢性疾患において可能性のある未来の治療を検討する研究プログラムを支援します。アストラゼネカは、前払金として 5,500 万ドルを支払い、すべてのプログラムを選択する場合には、30 億ドルを超えるオプション行使料および付随するマイルストーンとともに、将来的な純売上に基づく段階別ロイヤリティを支払います。また、アストラゼネカは Syneron Bio 社に対して株式投資を行います。

Tempus AI 社および Pathos AI 社

2025 年 4 月、アストラゼネカ、Tempus AI 社（Tempus 社）および Pathos AI 社（Pathos 社）は、オンコロジー分野での基礎的かつ大規模なマルチモーダルモデルの開発について、一連の合意を締結しました。当モデルは、生物学および臨床における知見の収集、新薬標的の発見、ならびに治療薬の開発に使用されます。アストラゼネカは Tempus 社に料金を支払い、同時に、アストラゼネカを含む投資家のシンジケートは Pathos 社と株式購入契約を締結します。

サステナビリティのハイライト

新たな報告規制に向けた準備として、アストラゼネカは、2024 年のサステナビリティレポートとアニュアルレポートを 1 つの公表資料に統合しました。目標に対する業績の詳細は、2024 Sustainability Data Annex に記載されています。

アストラゼネカは、当社初となる [Taskforce on Nature-related Financial Disclosures](#) レポートおよび [Sustainable use and sourcing of raw materials](#) レポートを発行しました。

報告カレンダー

当社は、2025 年 7 月 29 日に 2025 年上半期および第 2 四半期業績を発表する予定です。

報告上の変更点

製品収益

2025 年 1 月 1 日付で、当社グループは包括利益計算書上における売上収益の表示方法を更新し、製品売上とアライアンス収益の合計を示す新たな小計として「製品収益」を盛り込みました。

製品収益と協業収益によって売上収益を構成します。

製品売上およびアライアンス収益は引き続き分けて表示しますが、アライアンス収益の重要性が増していることから、新たな小計により、同様の特性を有する収益タイプの集計を追加して表示します。

製品売上、アライアンス収益および協業収益の詳細は、当社グループの[アニュアルレポートおよび Form 20-F Information 2024](#) の 152 ページに記載されています。

粗利益率

2025 年 1 月 1 日付で、当社グループは「製品売上総利益率」の指標を「粗利益率」の指標に置き換えました。従来の指標では、アライアンス収益および協業収益に関連する利益が除外されていました。新しい指標は、売上収益に占める粗利益の割合を用いて算出することで、すべての収益カテゴリーを包含します。これは、業績全体のより包括的な指標を示すことを意図しています。

収益要因

Table 3 : 医薬品別製品収益

	2025 年 第 1 四半期		増減 (%)			
	100 万 ドル	対合 計 (%)	実績	CER		
- タグリッソ	1,679	12	5	8		
- イミフィンジ	1,261	9	13	16		
- カルケンス	762	6	6	8		
- リムパーザ	726	5	3	5		
- エンハーツ	596	4	29	34		
- ゾラデックス	293	2	3	8		
- トルカブ	132	1	>2x	>2x		
- イジユド	80	1	30	33		

	2025 年 第 1 四半期		増減 (%)					
	100 万 ドル	対合 計 (%)	実績	CER				
- ダトロウェイ	4	-	n/m	n/m				
- その他のオンコロジー製品	110	1	(8)	(4)				
オンコロジー	5,643	42	10	13				
- フォシーガ	2,058	15	11	16				
- クレストール	317	2	7	10				
- プリリント	305	2	(6)	(4)				
- セロケン	161	1	(2)	3				
- ロケルマ	153	1	35	38				
- ロキサデュスタット	79	1	2	4				
- Wainua	39	-	>8x	>8x				
- その他の CVRM 製品	136	1	(28)	(25)				
CVRM	3,248	24	8	12				
- シムビコート	723	5	(6)	(3)				
- ファセンラ	418	3	17	19				
- ビレーズトリ	300	2	37	39				
- テゼスパイア	217	2	81	85				
- パルミコート	158	1	(30)	(26)				
- サフネロー	136	1	49	51				
- Airsupra	28	-	>4x	>4x				
- その他の R&I 製品	104	1	6	8				
R&I	2,084	15	11	13				
- ベイフォータス	112	1	>2x	>2x				
- シナジス	112	1	(34)	(32)				
- フルミスト	-	-	(96)	(96)				
- その他の V&I 製品	1	-	(93)	(93)				
V&I	225	2	(3)	(1)				
- ユルトミリス	1,050	8	22	25				
- ソリス	444	3	(40)	(38)				
- ストレンジック	352	3	12	14				
- コセルゴ	138	1	4	8				
- その他の希少疾患	58	-	9	15				
希少疾患	2,042	15	(3)	-				
- ネキシウム	233	2	(4)	-				
- その他	39	-	(28)	(26)				
その他医薬品	272	2	(8)	(5)				
医薬品合計	13,514	100	7	10				
上記に含まれるアライアンス収益：								
- エンハーツ	398	3	17	21				
- テゼスパイア	130	1	70	70				
- ベイフォータス	82	1	>4x	>4x				
- ダトロウェイ	4	-	n/m	n/m				
- その他のアライアンス収益	25	-	18	18				
	639	5	40	42				

Table 4 : 協業収益

	2025 年第 1 四半期	増減 (%)					
		100 万 ドル	実績	CER			
フォシーガ：販売マイルストーン	74		64	64			
合計	74		64	64			

Table 5 : 治療領域別売上収益

	2025 年 第 1 四 半期		増減 (%)					
	100 万 ドル		実績	CER				
オンコロジー	5,643	42	10	13				
- CVRM	3,322	24	9	13				
- R&I	2,084	15	11	13				
- V&I	225	2	(3)	(1)				
バイオ医薬品	5,631	41	9	12				
希少疾患	2,042	15	(3)	-				
その他医薬品	272	2	(8)	(5)				
合計	13,588	100	7	10				

Table 6 : 地域別売上収益

	2025 年 第 1 四 半期		増減 (%)					
	100 万 ドル		実績	CER				
米国	5,646	42	10	10				
- 中国以外の新興国市場	2,138	16	8	17				
- 中国	1,805	13	3	5				
新興国市場	3,943	29	6	12				
欧州	2,759	20	5	9				
その他既成市場	1,239	9	4	9				
合計	13,588	100	7	10				

営業および財務の概況

報告通貨

本セクションの成長および業績に関する説明はすべて実際の為替レートに基づいており、財務数値は特に断りのない限り、100 万米ドル（\$m）単位で記載されています。

報告期間

別段の記載がない限り、本発表で示された業績は、2025 年 3 月 31 日までの 3 カ月間（「当四半期」または「2025 年第 1 四半期」）を対象とし、2024 年 3 月 31 日までの 3 カ月間（「2024 年第 1 四半期」）と比較しています。

コア財務指標

コア財務指標である EBITDA、純負債、粗利益率、営業利益率および CER は、当社グループの要約連結財務諸表から直接算出できないため、非 GAAP 財務指標となります。

経営陣は、これらの非 GAAP 財務指標は、報告ベースの業績と合わせて提供することにより、投資家やアナリストに、当社グループの財務業績や状況を時系列で比較しながらより深くご理解いただくための有益な補足情報を提供するものと考えています。

これらの非 GAAP ベースの財務指標は、GAAP に準拠して作成された財務指標に代わるものでも、優先されるものでもありません。

コア財務指標（続き）

コア財務指標は、以下のような特定の重要な項目を除外するよう調整されています。

- グローバルでの組織改編に関連する費用および引当金（資産化された製造資産および IT 資産に及ぼす構造改革プログラムの影響に関連する費用を含む）
- 無形資産の償却および減損（減損の戻し入れを含むが、IT 資産に関連する費用を除く）
- その他の特定項目（主に買収関連の費用および債務から成り、企業結合の偶発対価に関連する帰属金融費用および公正価値変動、無形資産取得によって生じた特定のその他の支払債務に関する帰属金融費用および再測定調整、アレクシオン社買収および法的和解によって生じた特定のその他の支払債務および負債項目に関連する再測定調整を含む）
- 上記の調整による税効果は、コア税金費用から除外

コア財務指標の性質に関する詳細は、[アニュアルレポートおよび Form 20-F Information 2024](#) の 70 ページに記載されています。

本発表の財務業績の項に記載されている報告ベースの財務指標とコア財務指標の調整表を参照してください。

定義

粗利益率は、売上収益に占める粗利益の割合と定義されています。

EBITDA は、報告ベースの税引前利益に合併会社および関連会社から生じた純金融費用ならびに減価償却費、無形資産償却費および減損費用を加算した値と定義されています。本発表の財務業績の項に記載されている報告ベースの税引前利益と EBITDA の調整表を参照してください。

営業利益率は、売上収益に対する営業利益の割合と定義されています。

純負債は、現金および現金同等物、その他の投資、ならびに金融派生商品の純額を差し引いた有利子負債およびリース負債と定義されています。本発表の中間財務諸表の注記 2「純負債」をご参照ください。

当社は、投資家およびアナリストの皆様が単一の財務指標に依存することなく、アストラゼネカの財務諸表（その注記を含む）およびその他の利用可能な当社報告書を注意深く全体的に検討されることを強くお勧めします。

四捨五入の関係で、本発表におけるいくつかのドル数値およびパーセンテージの合計は一致しない場合があります。

Table 9 : 報告ベースとコア財務指標の調整 : 2025 年第 1 四半期

	報告ベース	組織改編	無形資産 の償却および減損	その他	コア	増減 (%)	
	100 万ドル	100 万ドル	100 万ドル	100 万ドル	100 万ドル	実績	CER
総利益	11,347	8	8	2	11,365	8	10
- 粗利益率	84%				84%	+1pp	-
流通費用	(135)	3	-	-	(132)	(2)	2
研究開発費	(3,159)	60	10	1	(3,088)	14	16
- 売上収益に占める研究開発費の割合	23%				23%	-1pp	-1pp
販売費・一般管理費	(4,492)	50	957	28	(3,457)	1	4
- 売上収益に占める販売費・一般管理費の割合	33%				25%	+1pp	+2pp
総事業費	(7,786)	113	967	29	(6,677)	7	9
その他営業収入・費用	113	1	-	1	115	79	78
営業利益	3,674	122	975	32	4,803	11	12
- 営業利益率	27%				35%	+1pp	-
純金融費用	(265)	-	-	50	(215)	(12)	(11)
税金	(481)	(28)	(187)	(18)	(714)	(18)	(18)
EPS	\$1.88	\$0.06	\$0.51	\$0.04	\$2.49	21	21

利益および損益要因

売上総利益

2025 年第 1 四半期の粗利益率（報告ベースおよびコア）の変動は以下の影響を受けました。

- 為替レートの変動によるポジティブな影響：通貨は、今後の四半期においてポジティブまたはマイナスの影響をもたらす可能性
- プロダクトミックスの変化によるポジティブな影響：アストラゼネカは特定の市場において製品売上を計上し、提携パートナーに売上総利益の一部を支払うことから、利益分配契約を交わしている製品（リムパーザ、エンハーツ、テゼスパイア、コセルゴ）の売上の貢献度が増加すると、粗利益率にマイナスの影響。パートナーに支払われる利益分配は、アストラゼネカの売上原価の行に計上
- 価格調整（米国のメディケア・パート D プログラムによって返還される売上に対する等）のため、第 1 四半期の粗利益率が希薄化。これらの調整の一部は結果として増大し、利益に対する全体的な影響を一部相殺

製品の季節性、為替変動、その他の影響により、期中における粗利益率の業績の変動が引き続き予想されます。

研究開発費

当期の研究開発費（報告ベースおよびコア）の変動には、以下が影響しています。

- 価値の高いパイプラインに関する良好な臨床試験結果に伴う後期臨床試験の開始
- 研究開発の能力向上を図るためのプラットフォーム、新技術、能力への投資
- 過去に発表された事業開発活動の完了後における研究開発プロジェクトの追加

販売費・一般管理費

- 当期の販売費および一般管理費（報告ベースおよびコア）の変動は、主に製品上市に向けた、および既存ブランドの成長持続支援のための市場開発活動によるものです。

その他営業収入（および費用）

2025 年第 1 四半期のその他営業収入の内訳は、主にロイヤリティおよび売却の前払金です。

純金融費用

過去の期に関連する税金負債が減少したため、コア純金融費用は主に税金に対する利息の調整により 12%（CER ベースで 11%）減少しました（下記を参照）。

税金

2025 年 3 月 31 日までの 3 カ月間における報告ベースの実効税率は 14%（2024 年第 1 四半期：22%）、コア実効税率は 16%（2024 年第 1 四半期：21%）でした。

2025 年第 1 四半期の税率は、税務当局との決済後に過去の期の税金負債見積額を更新したことから、税金負債の減少による恩恵を受けました。

2025 年 3 月 31 日に終了した当四半期に現金で支払った税額は、3 億 6,300 万ドル（2024 年第 1 四半期：4 億 3,000 万ドル）で、報告ベース税引前利益の 11%（2024 年第 1 四半期：15%）に相当します。

Table 14 : 為替感応度

通貨	主要な関連項目	対米ドル為替レート（期中の平均レート）					対米ドル 5% 安の年間影響額 ¹ （百万ドル）	
		2024 年 ² 通年	2025 年 ³ 初来	変動 (%)	2025 年 3 月 ⁴	変動 (%)	売上収益	コア 営業利益
ユーロ	売上収益	0.92	0.95	(3)	0.93	(0)	(461)	(232)
中国元	売上収益	7.21	7.29	(1)	7.26	(1)	(313)	(171)
日本円	売上収益	151.46	152.59	(1)	149.11	2	(179)	(121)
英ポンド	営業費用	0.78	0.79	(2)	0.78	1	(68)	124
スウェーデン・クローナ	営業費用	10.57	10.69	(1)	10.16	4	(9)	69
その他							(557)	(289)

1. 2025 年通年の対米ドル平均為替レートが 2024 年通年の平均レートよりも 5% 低下した場合を想定しています。影響データは、通貨プロファイルに関する最良かつ一般的な想定に基づく推定値です。
2. 2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の 1 日の平均スポットレートに基づきます。
3. 2025 年 1 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の 1 日の平均スポットレートに基づきます。
4. 2025 年 3 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の 1 日の平均スポットレートに基づきます。

注記

- ¹ 恒常為替レート（Constant exchange rates, CER）。実績増減と CER 増減の差は、2025 年対 2024 年の期間中の為替変動によるものです。CER 財務指標は、報告ベース業績から為替変動の影響を取り除くため、一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）に基づく会計処理によるものではありません。
- ² 2025 年 1 月 1 日付で、当社グループは売上収益の表示方法を更新し、製品売上とアライアンス収益の合計である新たな小計として製品収益を追加しました。詳細は、中間財務諸表の注記 1「作成基準および会計方針」をご参照ください。
- ³ コア財務指標は、特定の項目を除くために調整されています。報告ベースとコア財務指標との差異は、主に、無形資産償却費、減損損失、和解費用および構造改革費用によるものです。報告ベース EPS とコア EPS の調整表は、本資料の業績セクションの Table 9 に記載されています。
- ⁴ 米国国内（または米国領内）の製造施設 11 カ所は以下のとおりです。
- ジョージア州ボガート
 - テキサス州コッペル
 - メリーランド州フレデリック
 - インディアナ州マウントバーノン
 - デラウェア州ニューアーク
 - ペンシルベニア州フィラデルフィア
 - プエルトリコ
 - カリフォルニア州レッドウッドシティ
 - メリーランド州ロックビル*
 - カリフォルニア州サンタモニカ
 - カリフォルニア州ターザーナ
- * 2025 年 5 月に開設
- ⁵ 当社は、買収関連負債から生じる公正価値調整、無形資産減損費用、訴訟和解引当金等、報告ベースの業績の重要な要素を確実に予測することはできないため、報告ベースのガイダンスを提供することはできません。本発表の最後にある将来予測に関する注意事項をご参照ください。
- ⁶ 2025 年 1 月 1 日付で、当社グループは粗利益率の表示方法を更新しました。詳細は、中間財務諸表の注記 1「作成基準および会計方針」をご参照ください。
- ⁷ グループが大幅かつ継続的な経済的利益を保持していない資産および事業の処分による収入は、グループの財務諸表において「その他営業収入（および費用）」に計上されます。